

# 江東区立 東陽小学校

令和7年度 グランドデザイン

## <学校教育目標>

人権尊重の精神を基調とし、心身共に健康で知性と創造力に富み、社会連帯意識や国際的視野をもった人間性豊かな子どもを育成する。

### ◎よく考えて進んで実行する子

主体的に問題を解決しようとするこども  
対話をとおして学び合うこども

### ○豊かな心を持ち、仲良く助け合う子

思いやりがあり、友達と協力するこども  
みんなの役に立とうとするこども

### ○健康で粘り強い子

すすんで運動し、体を鍛えるこども  
目標に向かってあきらめずに取り組むこども



## こどもたちが輝くとき

できなかったことができるようになったとき

みんなで同じゴールに向かっていくとき

新しい発見があったとき

成長を実感できたとき

好きなことをしているとき

好きなことを語っているとき

人の役に立つとき

あきらめずにがんばっているとき

驚いたとき

みんなで何かを成し遂げたとき

自分の可能性が広がったと感じたとき

「もっとやってみたい」と思ったとき

みんなで何かを成し遂げたとき

そんな「とき」を

わたしたち、みんなで作りたい

令和7年度 江東区立東陽小学校の教育

# みんなで作る みんなの学校

～未来に向かって学び、輝き、夢を語り合う～

ALL FOR ONE, ONE FOR ALL

文脈のある  
学び

好奇心

自己選択

自己決定

自己開示

絆

全力

響くあいさつ

届く声

凡事徹底

こども主体

読み解く

書き表す

伝え合う

創るよろこび

夢中

感動

笑顔

涙

誠実

寄り添い



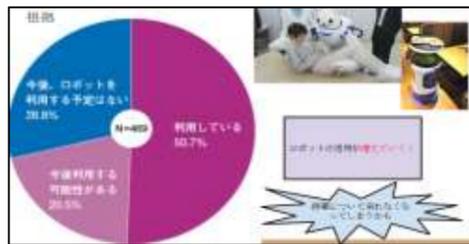
# こども ワクワク科で 何をする？

## ロボットとの関わりを増やそう

私は「こどもワクワク科」でロボットについて学んだり、体験したりすることを提案します。

みなさんはロボットを実際に活用したり、学んだりしたことはありますか。

私がこのテーマにした理由は、最近人手不足解消や生産性の向上にむけて、たくさんのロボットが会社などでも導入されているからです。人間にとってとても便利な存在です。



こちらのグラフは、ロボットを現在利用しているか、今後利用する可能性があるか、利用する可能性がないかの割合を表しています。現在利用している割合と利用する可能性がある割合を合わせると全体の7割ほどを占めることになります。つまり、今後はどんどんロボットを活用する場面が増えていくのです。たとえば、介護施設で使われるロボットだったり、飲食店で活用されるロボットだったり…と様々です。そのうち、学校でもロボットが使われる日が来るかもしれません。そのため、ロボットについて技術を学ばないと授業の内容についてこられない人もいるかもしれません。

そのための授業内容は、まずロボットがどんな場面で使われるか、構造だったり仕組みについて学び、最後はプログラミングしたりロボットを活用したりする授業です。

まとめると、ロボットは人手不足や生産性の向上に効果的でよく使われます。今後ロボットが使われる機会が増えるため、子どものうちからロボットについて考えることが大切です。みなさんもロボットのことに進んで調べてみたり活用したりしてみてください。

5年生末の国語科で「こども未来科で何をする」という単元があります。3名のこどもたちの発信を紹介します。

こどもたちが「どんな学びを必要としているのか」「根拠をもって表現することができる力を持っている」「社会全体のことを考えて発案することができる」ことがわかります。

## クラスで映画を作りたい！

私は子どもワクワク科で「クラスで映画を作る授業」をいれるのが良いと思います。なぜなら映画を作ることを通して、楽しみながら「友だちとの仲を深めることができる」と考えたからです。

私は大人になったときに一番必要な力は「人と関わる力」だと思います。

そしてその「人と関わる力」は子供の頃から身につけておかないと大人になり急に人と関わってくださいと言われても難しいのではないかと考えました。

そして、なぜ「映画」というテーマにしたのかというと、「映画」は役割が多く、普段はあまり話さない人でも誰かと関わって人になれることができると思ったからです。例えば監督、出演者、表に出なくても裏方や編集者など一人一役以上はできるくらい役が多いです。そしてその中で友達の上手なところ、すごいと思ったところなどを探してそれが友達作りや仲を深めることにつながると思いました。

「友達との仲を深める」とは具体的に何かというと、共通の話題をもって、話すきっかけになったり、趣味や好きなことなど友達と仲良くなれる「種」をつくったりすることだと思います。その「種づくり」をワクワク科の「映画を作る」ということを通して、人と関わっていけば自然と人に慣れて、友だちが増えたり仲が深まったりするのだと思います。

そして、映画作りは社会科見学のように一回その授業をして終わりではなく、長時間かけて作り、その授業時間の中には作り終わった映画を見る時間や感想を書く時間など長い時間をかけて作るものです。だから私が提案している「映画」は日に日にワクワクする気持ちが膨らんでくるものだと考えました。そして、授業時間だけではなく、「映画作りを通して」仲良くなった友達と休み時間に話すワクワクなど日常生活のワクワクも増えていくと考えています。

このことから私はこどもワクワク科で「クラスで映画を作る授業」をいれるのが良いと考えます。

## 3つのコトバの大切さ

みなさんは、最近、地域の人達が冷たいな、元気がなさそうだなとか感じることはありませんか？

隣同士の家でも、たまにしか挨拶をしなかったり、コンビニやスーパーでも、笑顔のない店員さんや、お年寄りがいても席を譲ったりしない人・・・など、私達の身近には相手のことを思っていない人がたくさんいます。

そこで私は、地域の人達のやる気を上げるための、3つのコトバをこども未来課で学ぶことを提案します。

そして、やる気がない人たちは、どのぐらいの割合でいるのでしょうか？それについて調べてみました。全年代では、約80%の人が仕事にやる気が出ないと感じているようです！しかも、このまま進んでしまうと、生活不活発病になり、負の連鎖が続いてしまいます。

これらを解決するために、私は、3つの言葉を覚え、活用してほしいと思います。3つのコトバとは、おもいやり・あいさつ・おせっかいです。ちなみに、東京おせっかい化計画などがあるように、プラスの意味と捉えてください。

おもいやりは、相手の立場を考えて応援する心。  
あいさつは、自分の心を開き、相手を認める心。  
おせっかいは、相手を助けようとする心。

この、3つのコトバを覚えることで、相手のことを、認め、応援し、ときには手助けしようと考えられるようになるのではないのでしょうか。また、このグラフを見ると約6割もの方が応援されると仕事のモチベーションが上がるという結果が出ています。

<実際のスケジュール>

- 1年生 あいさつの大切さ
- 2年生 思いやりについて考える
- 3年生 おせっかいにチャレンジ！！
- 4年生 地域の「元気」を考える
- 5年生 自分たちで3つのコトバを実践する
- 6年生 地域の人たちに3つのコトバを広げる活動をやってみる

3つのコトバがあることで、地域を明るく・元気にすることができます！！なので、私は、こどもワクワク科で、3つのコトバについて学び、活用することを提案します！

未来に向かって学び、輝き、  
夢を語り合う

# 未来は わたしたちが 創る!

2022年の卒業生は、学習発表会に向けて、SDGsを学びました。SDGsとは何か。今、世界ではどんなことが起きているのか。問題の解決に向けて、どのような努力が行われているのか。その人はどんな考えをもっているのか。導入で子どもたちに投げかけ、自分の意見を持ち、交流させ思考を深める。その後、自分たちで台本を書き上げ、学習発表会で発信をしました。

自分のことだけを考えてプラスチックをバンバン作ってそして捨てる、この流れが海洋汚染を深刻化させていると思った。

世界中の人が協力していないと世界のゴミ問題は解決しない。

海がとてつもなく汚れていることがとても気になった、人は自分のことだけを考えずに自然のこと考えることがとても大切だと思った。

私達と同じくらいの年齢でもかなりつらい思いをしている人がたくさんいることがわかった。

私達はとても恵まれた生活をしていることを知った。そして、世界にはいつも私達が普通にやっていることを何もできない人達がいて、一日に沢山の人が亡くなってしまっているということを知った。

ご飯のひと粒さえ食べられない子供もいるのに、たくさん食物を食べられる私達が自分勝手に残してはいけない。

自分たちでできることがある

言われたことをやるだけではなく自分自身の気持ちで「〇〇をやるう！」と行動できる気持ちが素晴らしい。

厳しい現実を変えるために行動を始めなければならない。

自分たちはご飯を当然のように食べているけれど、世界で見ればありがたいことである

私は地球のため、食事を取れない人の為になにかしなければいけない。

世界の中でがんばっている人がいるのにそれを無駄にしないように自分ができることをしたい。

これから先、ずっと地球に住み続けるためには、僕たちがこの問題を解決することが大事だと改めて感じました。

「微力だけど、無力じゃない」という言葉を思い出しました。私たちのちょっとした行動が積み重なることでこの目標は達成するから、何もしないことと、少しでも目標の達成に向けて取組ことは雲泥の差だと思いました。

私は世界と向き合い、自分がやっても世界は変わらないと思わないで行動したいです。

素敵な未来を創れるように、学んでいきたいです。

未来に向かって学び、輝き、  
夢を語り合う

